

都筑支部長 宮 本 雅 司 (S63 年卒)

都筑区は、平成6年11月6日、港北区と緑区の行政再編成により青葉区とともに誕生し、まだ20歳を超えたばかりの新しい区です。

「都筑」という地名は、日本最古の和歌集「万葉集」に初めて登場しています。この奈良時代から昭和14年に横浜市に編入されるまでの約1,200年もの間、現在の都筑区や横浜市北西部のあたりは「都筑郡」と呼ばれていました。「都筑」は、この歴史的に由緒ある名前を受け継ぐとともに、区民の総意で「新しい都をきづく」という、これからのまちづくりの願いから選定されています。

都筑区は、北部や中心部に広がる港北ニュータウン地区の住宅地、センター南駅や北駅を中心とした公的施設・商業施設が集積した地域、区の南部を中心とした農業専用地区や鶴見川沿いの工業地域等、土地利用も様々な顔をもった区です。港北ニュータウン地区を中心に、約15kmにも及ぶ緑道や公園、緑豊かなまちも特色です。

区が誕生した平成6年に約11万人だった人口は、平成28年には約21万人に増えました。横浜市の平均年齢が約44歳に対し、都筑区は約40歳と、市内で最も若いまちとしても知られています。

新しく開発された区だけに、子育て世代が多く在住し、小中学校も一校あたりの児童生徒数が比較的多い特徴があります。各家庭で大切に育てられている子どもたちが多く、基礎的な学力も高い子が多く在学しています。一方、社会性や人とのかかわり、たくましく生き抜く力等、今日育成を期待

されている資質には課題も見られます。家庭とともに協働して子どもたちをよりよく育てていくために、より一層学校教育の充実の必要性を感じています。

都筑区内には、小学校22校、中学校8校があります。友松会都筑支部は、平成29年1月現在、校外会員33名、校内会員89名がいます。

平成28年度は、11月19日(土)に支部総会と懇親会を行いました。参加者は、芦川会長と校外会員5名、校内会員5名と、若干少なめでしたが、友松会や都筑支部を大切に想ってくださる諸先輩方と現役の校長等とで交流を深めるひとときを過ごすことができました。都筑支部の歴代役員名簿や学生歌の歌詞、表示札等を持参してくださった諸先輩方に、この場をお借りしてお礼申し上げます。

今回は、諸先輩方、現職の校長や首席指導主事という参加だったので、次年度は、校内会員の若手現職教員の皆様にも参加していただこうと、今後の会を計画しているところです。



平成28年度 都筑支部総会・懇親会にて